

事例番号:310249

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第五部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 31 週 1 日

6:00 頃 下腹部痛あり

10:00 頃 下腹部痛のため搬送元分娩機関を受診、超音波断層法で常位胎盤早期剥離の所見、著明な胎児心拍数徐脈を認める

12:00 常位胎盤早期剥離の診断で当該分娩機関に母体搬送となり入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 31 週 1 日

12:11 胎児徐脈のため帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 胎盤面積の 80%程度の剥離あり、血性羊水あり

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:31 週 1 日

(2) 出生時体重:1600g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.60、BE -34.5mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 1 点

(5) 新生児蘇生:気管挿管、胸骨圧迫、アドレナリン注射液投与

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 48 日 頭部 MRI で大脳基底核に信号変化および脳室周囲の白質容量低下を認める

**6) 診療体制等に関する情報**

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名

看護スタッフ:助産師 4 名、看護師 2 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 2 名、麻酔科医 2 名、研修医 1 名

看護スタッフ:助産師 4 名、看護師 1 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

(1) 脳性麻痺発症の原因は、常位胎盤早期剥離による胎児低酸素・酸血症であると考えられる。

(2) 常位胎盤早期剥離の関連因子は認められない。

(3) 常位胎盤早期剥離の発症時期は特定できないが、妊娠 31 週 1 日の 6 時頃またはその少し前の可能性があると考えられる。

**3. 臨床経過に関する医学的評価**

1) 妊娠経過

搬送元分娩機関における妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関における受診時の対応(超音波断層法による胎児心拍数と胎盤の確認)は一般的である。

- (2) 妊産婦の症状(下腹部痛、性器出血)および超音波断層法所見(かなりの胎児心拍数徐脈)により常位胎盤早期剥離と診断し、母体搬送を行ったことは選択肢のひとつである。
- (3) 当該分娩機関における入院時の対応(超音波断層法による胎児心拍数の確認、常位胎盤早期剥離を診断、帝王切開を決定、直ちに手術室へ移動)、および入院から11分で児を娩出したことは、いずれも優れている。
- (4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

新生児蘇生(気管挿管、胸骨圧迫、アドレナリン注射液の投与)は一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

#### (1) 搬送元分娩機関

- ア. 緊急時で、速やかに診療録に記載できない場合であっても、対応が終了した際には、妊産婦からの電話による問い合わせがあった場合はその時刻と内容、受診時刻、処置等の時刻や観察事項、母体搬送時刻は診療録に記載することが望まれる。

【解説】本事例は電話連絡の時刻や内容、正確な受診時刻、実施した処置の時刻や搬送決定時刻の記載がなかった。観察事項や妊産婦に対して行われた処置、説明内容、時刻は詳細を記載することが必要である。

- イ. 事例検討を行うことが望まれる。

【解説】児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策について院内で事例検討を行うことが重要である。

#### (2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

常位胎盤早期剥離は、最近の周産期管理においても予知が極めて困難であるため、周産期死亡や妊産婦死亡に密接に関与する。常位胎盤早期剥離の発生機序の解明、予防法、早期診断に関する研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。